

令和8年度（第50回）自衛消防活動審査会 資料

概要

1 実施日時

令和8年11月25日（水）9時00分から12時15分まで（受付開始8時30分）

2 実施場所等

(1) 実施場所

新宿区立西戸山公園野球場(新宿区百人町4-1（別図1）

(2) 会場図

別図2のとおり

3 審査区分等

種別等 審査区分	コース	種 別	参加隊の定義等	審査項目
内 栓 一 般	1 2	屋 内 消 火 栓	特になし（男女混成可） 指揮者・1番員・2番員	【共通】 ① 規律・態度 ② 放送要領・初期消火・避難誘導・ 119番通報 ③ 屋内消火栓操法
内 栓 警 備	2	屋 内 消 火 栓	警備業務員等（男女混成可） 指揮者・1番員・2番員	
簡 易 一 般	3	簡 易 型 屋 内 消 火 栓	特になし（男女混成可） 指揮者・1番員	
簡 易 警 備		簡 易 型 屋 内 消 火 栓	警備業務員等（男女混成可） 指揮者・1番員	

4 実施順序

抽選により決定した実施順序を後日、担当者あてにメール及び新宿消防署ホームページに掲示します。

5 審査会中止の決定

雨天決行としますが、荒天等による中止の場合は、当日の午前7時00分までに決定し、新宿消防署ホームページに掲示しますので確認してください。なお、審査会の延期はありません。

6 その他

- (1) 審査会場に更衣室はありますが、大きな更衣室ではありませんので、なるべく事前に更衣を済ませてご来場ください。
- (2) 見学する方も来場できますが、参加隊数が多く、スペースも限られることから、人数について配意願います。
- (3) 当日、急遽参加できなくなった場合は、午前7時00分までに新宿消防署へ電話で連絡してください。
- (4) 係員が危険と判断した場合は、審査中であっても行動を制止する場合があります。
- (5) 訓練開始前は必ず準備運動を行い、怪我の防止に努めてください。
- (6) 審査会場及び公園の周辺には専用駐車場がありませんのでご了承ください。
- (7) 本説明会の質疑に関する回答は、後日、担当者あてにメール及び新宿消防署ホームページに掲示します。

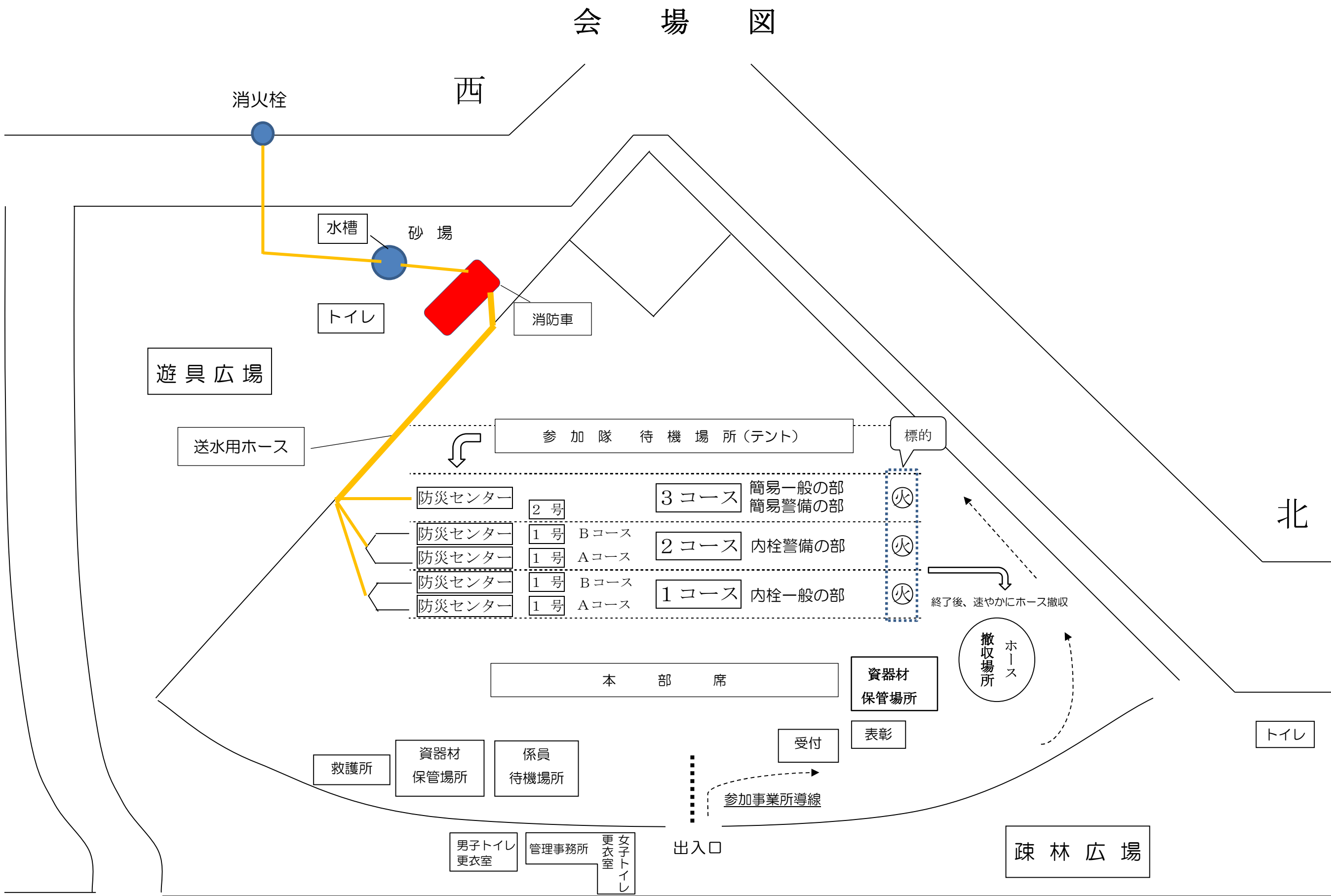
付近図

名称：新宿区立西戸山公園野球場

所在：新宿区百人町四丁目 1 番



別図2



※配置等は当日変更になる可能性があります。 ※ ----▶参加事業所導線

当日の流れ

1 タイムスケジュール （※当日の審査進行状況により前後する可能性があります）

	時 間 経 過					
	8:30	9:00	11:15	11:45	12:15	
内 容	受付開始	審査開始	休憩	審査終了	表彰式・閉会式	終了・解散
		審査時間約2時間15分				

2 受付

審査会当日の受付は、8時30分から行います。

受付は代表1名がお願い致します。受付の際、パンフレットと記念品引換券をお渡しします。お帰りの際は、受付で記念品引換券を提出し、記念品を受領するようお願いします。

また、参加申込書でノズル、ホースの貸出しを希望した隊には、受付で貸出票とともにノズル、ホースをお渡しします。貸出票はホース撤収の際に係員に返納してください。

受付時、屋内消火栓（一般・警備）に参加する最初の9隊に腕章をお渡しします。それ以降の隊については次隊準備位置の腕章回収ボックス内の腕章を装着してください。簡易型屋内消火栓（一般・警備）に参加する隊については、受付で腕章をお渡しします。

資器材の準備等がありますので、各隊、時間に余裕をもってお越しください。（審査開始の30分前には受付をお済ませください。）

3 開会

参加隊の整列の必要はありません。

4 審査会

開会式はございません。審査長による審査開始報告がされた後、9時00分から審査を開始します。

各コース1、2番目に実施する隊は、受付終了後速やかに腕章の着用や屋内消火栓へのホース設定等、訓練を開始できる準備を済ませ、1番目の隊は防災センターの椅子位置に立位で待機してください。会場内に随時、各隊の審査結果を掲示します。

5 表彰式及び閉会式

(1) 別図3の受賞隊整列位置に、係員の準備が完了後、アナウンスに従い、整列してください。（表彰隊のみ整列をお願い致します。）

(2) 審査区分ごとに表彰します。

表彰式では、優勝隊には優勝カップ、表彰状及びメダルを、準優勝隊と3位隊には表彰状及びメダルを授与します。

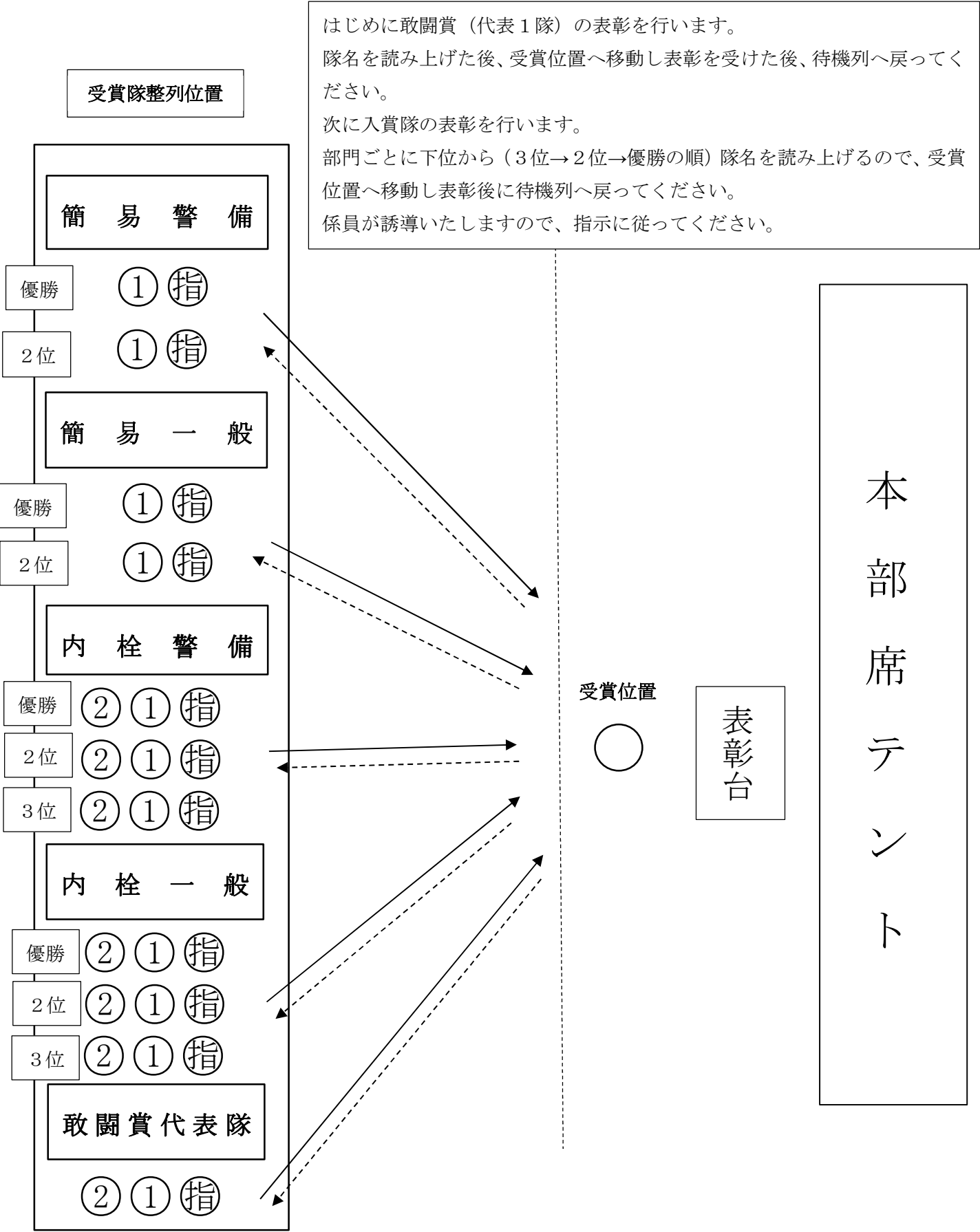
また、敢闘賞には賞状を授与します。表彰式には代表隊1隊のみ整列していただきます。表彰式に整列する代表隊については事務局で決定後、担当者にお知らせいたします。

6 会場引揚

会場を引き上げる際は、所持品やホース、ノズル等の忘れ物、取り間違えに注意してください。

別図 3

表彰式及び閉会式隊形



服装及び準備資器材等

1 服装

- (1) 激しい動作に適し、ホースやノズルなど搬送してもケガをしづらい服装（長袖、長ズボン及び運動靴等）とし、ヘルメット及び手袋を持参してください。
- (2) 雨天に際し、雨具（カッパ等）を着用することができますが、活動に支障をきたさない物（セパレートタイプ等）としてください。

2 準備資器材（借用申請のあった事業所は除く）

- (1) ホース × 2本 （口径40mm、長さ15m）
規格外ホース、又は独自の長さに変更したホースの持込みはできません。
なお、簡易型への参加隊分は消防署で準備します。
- (2) 可変式噴霧ノズル × 1本

3 ホース漏水処理

内栓一般及び内栓警備の各2番員は、ホースの穴開きにより漏水した場合の応急処置として、タオル等を準備してください。

（複数ヵ所漏水した場合は、1ヵ所のみを応急処置をしてください。）

4 その他

飲料水等の準備をお願いします。適宜、水分補給をしてください。

実施要領

1 審査項目

- (1) 訓練中の規律・士気
- ㊦ 火災発生時の放送、避難誘導、消火器を活用した初期消火及び119番通報要領
- ㊩ 屋内消火栓操法

2 実施準備及び撤収について

- (1) 内栓一般、内栓警備の部は、Aコース及びBコースごとに2隊前の審査開始までに、ノズル、ホース、を持参し、腕章を身に着けた状態で次隊準備位置（別図4及び別図6参照）に集合してください。

また、簡易一般、簡易警備の部は、2隊前の審査開始前までに腕章を身に着けた状態で次隊準備位置（別図5参照）に集合してください。

- (2) 屋内消火栓のホース設定は係員の案内に従い、必ず参加隊が実施してください。
- (3) 実施コース

ア 屋内消火栓（内栓一般、内栓警備）→ 別図4のとおり

イ 簡易型屋内消火栓（簡易一般、簡易警備）→ 別図5のとおり

※ 内栓一般と内栓警備は参加隊数が多いため、コース内でAとBに分け、Aを本部テント側とします。

※ 内栓一般と内栓警備の部は、操法終了後、別図2に示すホース撤収場所へ速やかに移動し、ホースを撤収後、別図4に示す次隊待機位置横に設置する腕章回収ボックスに腕章を返却してください。（実施隊が順次、腕章を使用しますので必ず返却するようお願いします。）

※ 簡易一般と簡易警備の部は、操法終了後、別図5に示す次隊待機位置横に設置する腕章回収ボックスに腕章を返却してください。

3 行動要領

別記1及び別記2のとおり

4 審査内容（各審査区分共通）

- (1) 訓練開始前の行動（規律・態度等）

資器材等の準備が終了後、防災センターの座席前に立位で（ヘルメットと手袋を机の上に置いておく）待機します。その際、規律・態度等を審査します。
- (2) 火災発生時の放送及び消火器を活用した初期消火、避難誘導、119番通報要領、屋内消火栓操法について、行動要領のとおり審査します。
- (3) 審査実施中の「取り組み姿勢」及び「動作」に対する評価

全ての審査項目について、指揮者、1番員、2番員の審査における姿勢（声の大きさ、明瞭など）及び動作（動き出しのタイミングや規律ある動き、安全・確実性など）について審査します。

5 タイム審査

- ㊦ 係員の「ベル鳴動」の合図から、屋内消火栓操法により標的に命中するまでのタイ

ムを測定します。基準タイムを100点満点（それ以上早い場合も一律100点）とし、遅い場合は減点となります。

※ **基準タイム** → **2分40秒**（内栓一般、内栓警備）

→ **2分40秒**（簡易一般、簡易警備）

※ 雨天時は、上記の基準タイムに＋20秒します。（3分00秒が100点）となります。

㊦ 予備送水の禁止

2番員が予備送水（簡易型屋内消火栓を除く。）を行った場合は、合計タイムに20秒加算します。

※ **予備送水** → 1番員が第2結合部まで延長し、「放水始め」の合図をする前に2番員が消火栓バルブを開放しておくことで、放水までの時間を短縮する行動のことを指します。

1番員が放水の体勢ができていない状態で、ホースに通水するため、ホースをコントロールできなくなり、危険です。

6 審査方式及び順位の決定方法

㊦ 審査は隊員ごとに審査します。総得点の多い隊を上位とします。

【屋内消火栓】 総得点 = 指揮者 + 1番員 + 2番員 + 危険行動及びタイム減点

【簡易型屋内消火栓】 総得点 = 指揮者 + 1番員 + 危険行動及びタイム減点

㊦ 同点時の順位決定方法

以下の順により決定します。

ア 指揮者の得点数の多いもの

イ 1番員の得点数の多いもの

ウ 2番員の得点数の多いもの（簡易型屋内消火栓を除く）

エ 合計タイムが早かったもの

7 審査結果の会場内での掲示について

(1) 審査結果は随時、本部テント裏に掲示していきます。集計及び確認の関係上、数隊まとり次第、掲示していきます。

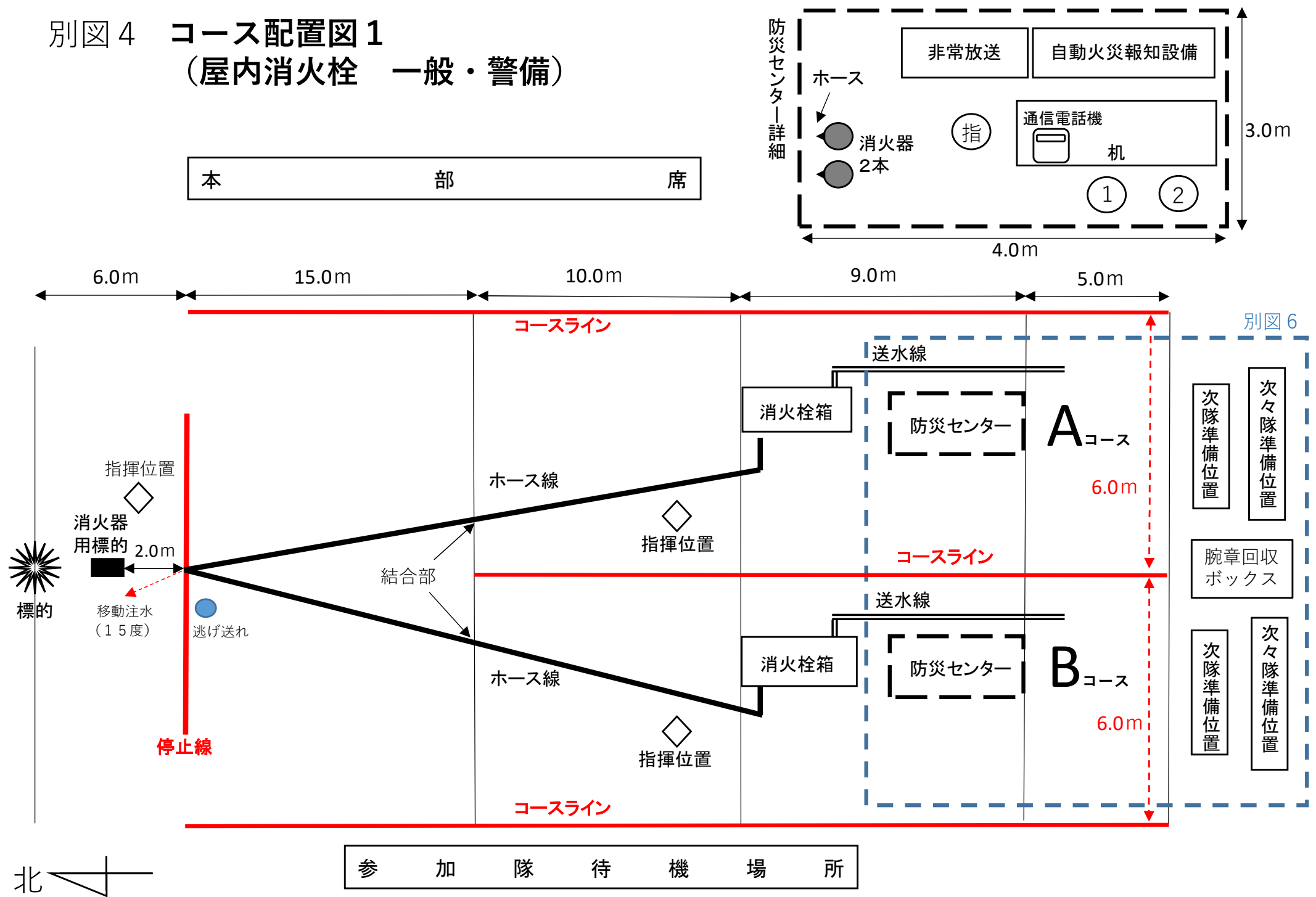
(2) 掲示される内容は、合計得点及びタイムとします。

8 その他

別図4及び別図5の防災センター内の機器である非常放送、自動火災報知設備、電話機等は電源を入れないため、模擬での実施とします。

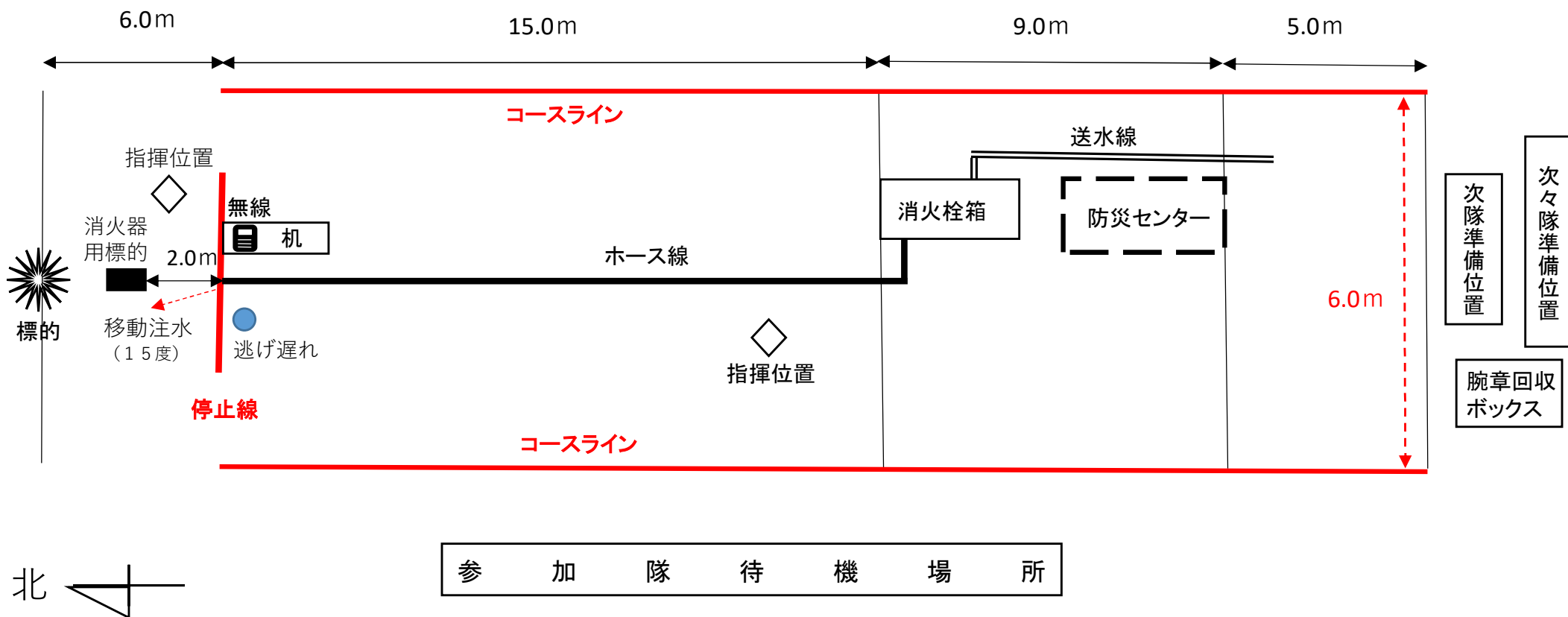
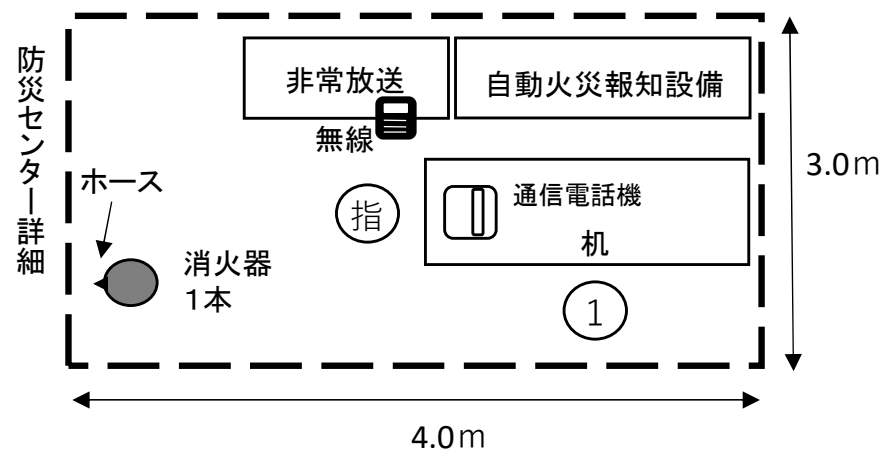
自動火災報知設備のベル鳴動、電話機での通報等は、その場で係員が指示・応答します。非常放送のマイクの拡声はされませんが、放送しているものとして行動してください。

別図 4 コース配置図 1
(屋内消火栓 一般・警備)



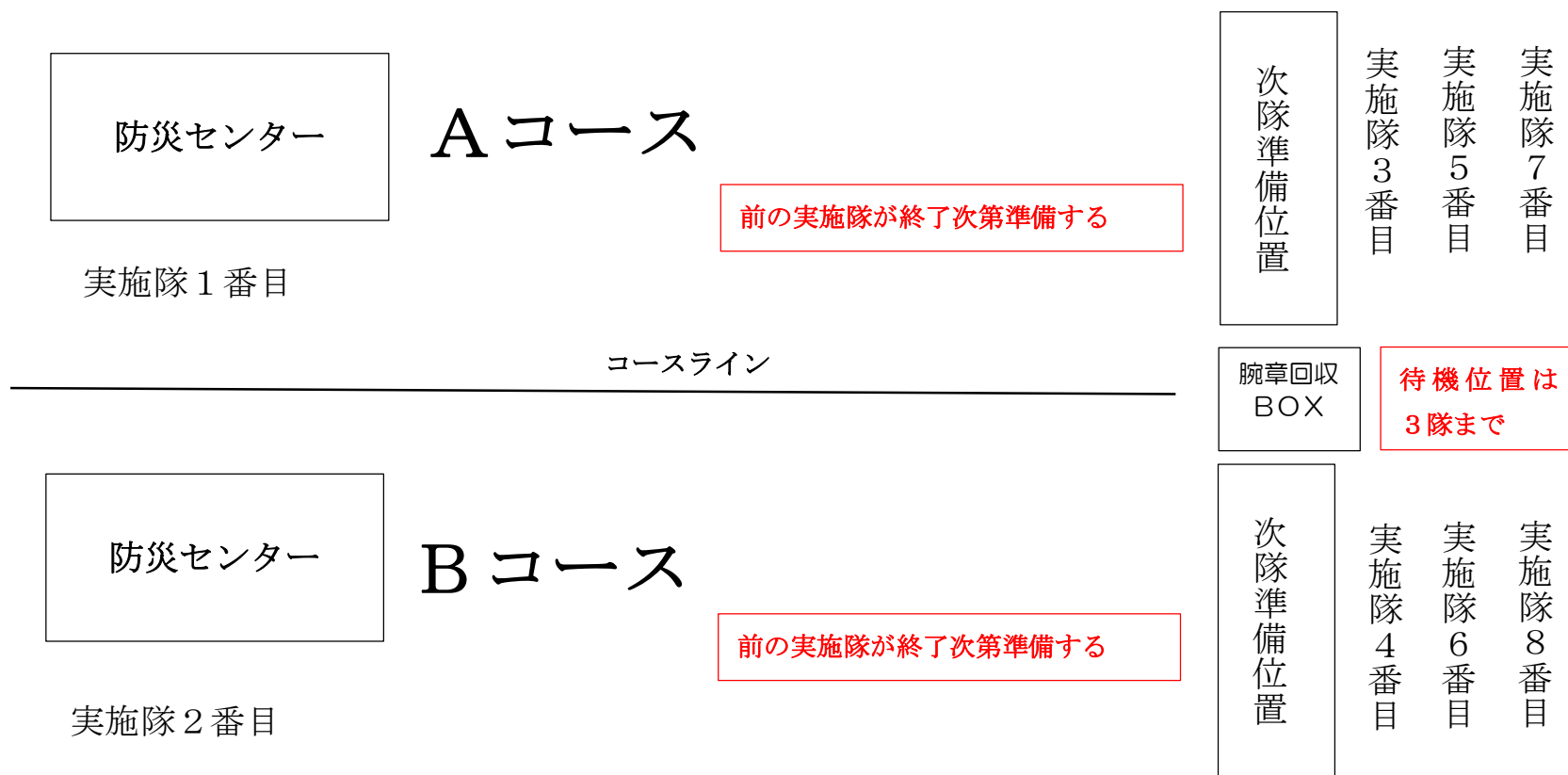
別図 5 コース配置図 2
(簡易型屋内消火栓 一般・警備)

本 部 席



別図 6

実施順序(開始時)



別記 1

令和 8 年度自衛消防活動審査会活動隊行動要領【屋内消火栓】

	指揮者	1 番員	2 番員
	全員、立位で待機する。		
【防災センター】	アナウンスで隊名が呼ばれたら「はい」「着席」と呼称する。	指揮者の「着席」の呼称で着席する。	指揮者の「着席」の呼称で着席する。
【火災発生】	審査員の「ベル鳴動」の合図後、全員で起立し		
【受信盤確認】	1、2 番員に対し「ベル鳴動、受信盤確認」と指示	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する
	受信盤を指差し確認しながら「1 階厨房で発報」と言う。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「1 階厨房で発報」と復唱する。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「1 階厨房で発報」と復唱する。
【着装】	1、2 番員に正対し、 「ヘルメット、手袋着装！」 机の上に準備しておいたヘルメットと手袋を着装し、「ヘルメットよし！」「手袋よし！」「着装よし！」とそれぞれ呼称する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 机の上に準備しておいたヘルメットと手袋を着装し、「ヘルメットよし！」「手袋よし！」「着装よし！」とそれぞれ呼称する。着装後、「マスターキーよし！」と持っている箇所（ポケット等）を示す。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 机の上に準備しておいたヘルメットと手袋を着装し、「ヘルメットよし！」「手袋よし！」「着装よし！」とそれぞれ呼称する。着装後、「マスターキーよし！」と持っている箇所（ポケット等）を示す。
【現場確認】	着装状態を確認した後、「1・2 番員は消火器を携行し、現場確認と初期消火にあたれ」と指示する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 消火器の位置まで移動し、消火器を持ち「消火器搬送」と言い移動する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 消火器の位置まで移動し、1 番員の「消火器搬送」に対し「よし」と返答し移動する。
【館内放送】	（マイクを保持し放送する） 放送設備により館内放送を 2 回実施する。 「こちらは防災センターです。只今、1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認をしております。次の放送にご注意ください」と 2 回繰り返す。	消火器搬送中	

【火災発見】	館内放送中	消火器搬送途中、「逃げ遅れ確認」と呼称、停止線到着後に消火器を一旦その場に置き、2番員から初期消火の報告が来たら「よし」と追認をする。	消火器搬送途中1番員の「逃げ遅れ確認」を聞き、「逃げ遅れ確認」と復唱する。停止線到着後、消火器を一旦その場に置き、指差し確認をしながら「火災確認」という。1番員に「消火器による初期消火を実施する。」と報告する。
【避難誘導・初期消火】	館内放送終了後は、1・2番員の向かった方に身体を向け待機する。	(2番員の初期消火実施の報告を受けた後) 逃げ遅れ(係員)に対し、「他に逃げ遅れはいませんか。歩けますか。私についてきてください」と声をかけ防災センターまで避難誘導を実施する。	「安全ピンよし」「ホースよし」「放射」と言い、初期消火を開始する。 <u>係員の「1本目終了」の合図後</u> 、放射をやめ、「1本目終了」と言い、消火器を安全なところに倒して置き、1番員の搬送してきた2本目の消火器を使用し、再度初期消火を実施する。 初期消火中、「誰かいますかー」と呼びかけながら消火器を放射する。 ・消火器操作時に停止線を越えないこと ・消火器の放射時間は1本15秒とする。
【現場確認報告】	1番員の報告に対して「よし」と返答し、「119番通報せよ」と指示する。	防災センター到着後、逃げ遅れ(係員)に対し「すぐに消防隊を要請します。座ってお待ちください。」と言い、1番員の椅子に座らせる。指揮者と正対し「火災確認、1階厨房が延焼中、現在まで避難誘導1名のほか逃げ遅れはなし。2番員が初期消火を実施中」指揮者の119番通報の指示に対して、「よし」と返答する。	初期消火中

【119番通報】 【館内放送】	(マイクを保持し放送する) 放送設備により館内放送を2回実施する。 「こちらは防災センターです。火事です。 1階厨房で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。エレベーターは使用しないでください」と2回繰り返す。	電話機の位置で119番通報を実施する。 番号を押しながら、「119」と言う。 「消防庁、火事ですか、救急ですか」 「火事です。」 「消防隊が向かう住所を教えてください」 「(事業所の住所を教えてください)」 「何階の何が燃えていますか」 「1階の厨房が燃えています。」 「逃げ遅れ、けが人はいますか」 「避難誘導が1名発生しています。逃げ遅れは確認中です」 「わかりました、消防車向かいます。」 指揮者への119番通報完了の報告 「119番通報完了」	係員の「消火不能」の合図後、消火器を安全なところへ倒して置き、「消火器による消火不能」と言い、回れ右して指揮者の元へ移動する。 指揮者の元まで移動し、「消火器による消火不能」と報告する。
【屋内消火栓】	「屋内消火栓による消火を行う。操作、はじめ」と号令する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓へ向かう。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓へ向かう。
【消火栓準備】	1、2番員の「よし」を聞いて、指揮に便利な位置へ移動し、1・2番員の操作状況を監視する。 (1・2番員の両者を監視できる位置。概ね火点側3m前方)	2番員が消火栓扉を開くのを待つて、ノズルと第2ホース及び第1ホースの半分を取り出し脇に抱える。 ・第1ホース：放口に結合されたホース ・第2ホース：ノズル側のホース	起動ボタンを押し(ジェスチャーでよい) 「起動ボタンよし」という。 指差し呼称により周囲を確認し、「周囲よし」と言い、その後「扉開放」と言い消火栓扉を開く。
【ホース延長】	2番員の「確保よし」を待つて1番員に先行し火点標的へ向かう。	2番員の「確保よし」を待つて、「ホース延長」といって火点に向けホースを延長する。	1番員のホース取り出しを待つて、第1ホースの放口側半分を取り出す。 ホースの内側に入って余裕ホースを腰にとり、1番員の状況をみて「確保よし」と言う。 ・ホースは必ず腰に当て、ひっぱりを防止する姿勢をとる

【放水開始】	指揮に便利な位置（概ね停止線から右前方2 mの位置）で1番員を待つ。	第2結合部まで延長した時点（結合部が地面に着地した時点）で2番員に対し「放水はじめ」と指示する。（後ろは振り向かない）	1番員の「放水はじめ」に対し「放水はじめ」と復唱し、「バルブ開放」と言いバルブを全開にした後、指揮者に向きを変え、右手を上げ「バルブ開放よし」という。
【注水】	停止線を指差し、1番員に対し「止まれ」と指示する。 指示後、標的に正対する。標的が倒れたのを確認したら、大きく“左向け左”の動作をとり1・2番員の補助の姿勢を確認する。	指揮者の「止まれ」の指示で停止し、余ったホースを横に投げ注水姿勢をとりノズルを全開にして注水し、標的を倒す。	バルブ解放後、ホース線を辿って1番員のもとに向かい第2結合部で一度止まり、「結合部よし」という。 1番員に相対する側1歩後方の位置でホースを持って「確保よし」と言い注水を補助する。
【移動注水】	2番員のホース確保を確認した後「左に注水」と号令する。 1、2番員の注水姿勢を確認後「右に注水」と号令する。	指揮者の「左に注水」の号令で「よし」と返答し、左足をおおむね左へ15度移動させ、注水姿勢をとる。 次に指揮者の「右に注水」の号令で「よし」と返答し、左足をおおむね右へ15度移動させ、元の位置に戻り注水姿勢をとる。	指揮者の「左に注水」の号令で「よし」と返答し、1番員の動きに合わせて、右足をおおむね左へ15度移動させ、注水補助姿勢をとる。 次に指揮者の「右に注水」の号令で「よし」と返答し、1番員の動きに合わせて、右足をおおむね右へ15度移動させ、元の位置に戻り注水補助姿勢をとる。

【放水停止】	1、2番員の注水態勢を確認した後、右手を水平に挙げ「放水止め」と号令する。	指揮者の号令に対し「放水やめ」と復唱しノズルを閉鎖する。 2番員の「バルブ閉鎖よし」を待って、45度程度下にノズルを傾け開放し、ホースの中を排水した後、ノズルを閉鎖する。 筒先の先端を右手で持ち、左足を引き付けて姿勢を正す。	1番員の「放水止め」の復唱に対し、「よし」と返答し消火栓ボックスへ向かい、「バルブ閉鎖」と言いバルブを閉めた後「バルブ閉鎖よし」と言う。 起動ボタンを戻し（ジェスチャーでよい）「起動ボタンよし」という。 1番員の方向を向き、右手を水平に挙げ「消火栓放水止め」と言った後、“気を付け”の姿勢をとる。
【収納】	1・2番員の姿勢を確認後、「消火栓収め」と号令し、1・2番員の整列位置、前方約2mの指揮位置に移動し“気を付け”の姿勢で待機する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し手元のホースを折り曲げて筒先をホースの上に置き、指揮者とともに屋内消火栓の横（ホースと干渉しない位置）に整列し、2番員とともに“気を付け”の姿勢で待機する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓の横（ホースと干渉しない位置）に整列し、1番員とともに“気を付け”の姿勢で待機する。
【点検報告】	「点検報告」と号令し、異常の有無の報告を受ける。	指揮者の号令に対し「1番員異常なし」と報告する。（指揮者の顔を見ながら）	指揮者の号令に対し「2番員異常なし」と報告する。（指揮者の顔を見ながら）
【別れ】	2番員まで異常のないことを確認したら、「別れ」の号令をかける。 1・2番員の挙手敬礼を確認後、指揮者は挙手敬礼を行い手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。
【撤収】	適宜、ノズル、ホース結合部を外し撤収位置に速やかにホース等を搬送する。		

※ 赤字部分は訂正した箇所です。

別記 2

令和 8 年度自衛消防活動審査会活動隊行動要領【簡易消火栓】

	指揮者	1 番員
【防災センター】	全員、立位で待機する	
	アナウンスで隊名が呼ばれたら「はい」「着席」と呼称する。	指揮者の「着席」の呼称で着席する。
【火災発生】	審査員の「ベル鳴動」の合図後、全員で起立し	
【受信盤確認】	1 番員に対し「ベル鳴動、受信盤確認」と指示	指揮者の「ベル鳴動、受信盤確認」の呼称に対し「よし」と返答する
	受信盤を指差し確認しながら「1 階厨房で発報」と言う。	指揮者に続いて受信盤を指差し確認し「1 階厨房で発報」と復唱する。
【着装】	1 番員に正対し、「ヘルメット、手袋装着！」 机の上に準備しておいたヘルメットと手袋を着装し、「ヘルメットよし！」「手袋よし！」「着装よし！」とそれぞれ呼称する。着装後、「マスターキーよし！」と持っている箇所（ポケット等）を示す。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 机の上に準備しておいたヘルメットと手袋を着装し、「ヘルメットよし！」「手袋よし！」「着装よし！」とそれぞれ呼称する。着装後「マスターキーよし！」と持っている箇所（ポケット等）を示す。
【現場確認】	着装状態を確認した後、「消火器を携行し、現場確認と初期消火にあたれ」と指示する。	指揮者の指示に対し、「よし」と返答し 消火器の位置まで移動し消火器を持ち「消火器搬送」と言う
【館内放送】	放送設備により館内放送を 2 回実施する （マイクを保持し放送する） 「こちらは防災センターです。只今、1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認しております。次の放送にご注意ください」と 2 回繰り返す。	消火器搬送中

【火災発見】	館内放送中	搬送中、関係者が初期消火をしているところを確認し「 初期消火を確認 」と呼称、その後停止線到着後に消火器を一旦その場へ置き、指差し呼称をしながら「 火災確認 」と言う。 関係者（係員）に対し「 他に逃げ遅れた方はいませんか 」と言う。関係者（係員）が「いません」と返答したら、「そのまま初期消火を続けてください」と言う。
【現場確認報告】	1番員の無線報告に対し、無線機を取り「よし」と返答し、「 初期消火及び避難誘導を実施せよ 」と指示する。	机の位置に移動し、無線機を取り「 1番員から防災センター、火災確認、1階厨房が延焼中。逃げ遅れは確認中 」と言う。指揮者の指示に対し「よし」と返答する。
【119番通報】 【初期消火】	電話機の位置に移動し119番通報を実施する。 番号を押しながら、「 119 」と言う。 「消防庁、火事ですか、救急ですか」 「 火事です。 」 「消防隊が向かう住所を教えてください」 「 (事業所の住所を教えてください) 」 「何が燃えていますか」 「 1階の厨房が燃えています。 」 「逃げ遅れ、けが人はいいますか」 「 逃げ遅れ、怪我人は確認中です 」 「わかりました、消防車向かいます。」	関係者（係員）に対し「 交替します。そちらでお待ちください 」と言う。 「安全ピンよし」「ホースよし」「放射」と言い、初期消火を開始する。 <u>係員の「消火不能」の合図後</u> 、消火器を安全なところへ倒して置き、「 消火器による消火不能 」と言い、関係者（係員）に「 避難します。私について来て下さい。 」と伝え、防災センターへ移動する。 ・消火器操作時に停止線を越えないこと ・消火器の放射時間は20秒とする。
【館内放送】	放送設備に移動し、館内放送を2回実施する。 「こちらは防災センターです。火事です。1階厨房で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。エレベーターは使用しないでください」と2回繰り返す。 (マイクを保持し放送する)	防災センターへ移動中

【避難誘導】	1 番員の報告に対し「よし」と返答する。	防災センター到着後、関係者（係員）を椅子に座らせた後「 すぐに消防隊が到着します。座ってお待ちください。 」と言い、指揮者と正対し「 火災確認、1 階厨房が延焼中、消火器による消火不能。現在まで避難誘導 1 名のほか逃げ遅れはなし。 」
【消火栓操作開始】	「 屋内消火栓による消火を行う。操作はじめ 」と号令する。	指揮者の号令に「よし」と返答し屋内消火栓へ向かう。
【延長準備】	指揮に便利な位置へ移動し、1 番員の操作状況を監視する。	指差し呼称により周囲を確認し、「 周囲よし 」と言い、その後「 扉開放 」と言い消火栓扉を開く。
【放水開始】	1 番員の「バルブ開放よし」を受けて火点の標的へ向かう。	左手でノズルを持ち「 バルブ開放 」と言い、バルブを全開にした後、「 バルブ開放よし 」と言う。その後、火点標的へ向きを変え、「 ホース延長 」と言い火点の標的へ向かう。
	指揮に便利な位置（概ね停止線から右前方 2 m の位置）で停止線を指差し、1 番員に対し「 止まれ 」と指示する。	指揮者の指示で停止し、注水姿勢を取り「 ノズル開放 」と言いノズルを全開にし「 開放よし 」という。
【注水】	指示後、標的に正対する。 標的が倒れたのを確認したら、大きく「左向け左」の動作を行い 1 番員の注水姿勢を確認する。	注水し標的を倒す。
【移動注水】	1 番員の注水姿勢を確認後 「 左に注水 」と号令する。 1 番員の注水姿勢を確認後 「 右に注水 」と号令する。	指揮者の「左に注水」の号令で「よし」と返答し、左足をおおむね左へ 15 度移動させ、注水姿勢をとる。次に指揮者の「右に注水」の号令で「よし」と返答し、左足をおおむね右へ 15 度移動させ、元の位置に戻り注水姿勢をとる。
【放水停止】	1 番員の注水姿勢を確認した後、右手を水平に挙げ「 放水やめ 」と号令する。	指揮者の号令に対し「 放水やめ 」と復唱し、ノズルを閉鎖した後、ノズルをその場に置き「 回れ右 」の動作をとって消火栓ボックスへ向かい「 バルブ閉鎖 」と言いバルブを閉めた後「 バルブ閉鎖よし 」と言う。 指揮者の方向を向き、右手を水平に挙げ「 消火栓放水止め 」と言った後“ 気を付け ”の姿勢をとる。

【収納】	1 番員の姿勢を確認後、「 消火栓収め 」と号令し、1 番員の整列位置から前方約 2 mの指揮位置に移動し“気を付け”の姿勢で待機する。	指揮者の号令に対し「よし」と返答し、屋内消火栓の横（ホースと干渉しない位置）に整列し、“気を付け”の姿勢で待機する。
【点検報告】	「 点検報告 」と号令し、異常の有無の報告を1 番員から受ける。	指揮者の号令に対し「 1 番員異常なし 」と報告する。（指揮者の顔を見ながら）
【別れ】	1 番員の異常なしを確認したら、「 別れ 」の号令をかける。 1 番員の挙手敬礼を確認後、指揮者は挙手敬礼を行い、手を下ろす。	指揮者の「別れ」の号令で挙手敬礼を行う。 指揮者が挙手敬礼をし、手を下ろしたのち直ちに手を下ろす。
【撤収】	係員により行いますのでそのまま退場してください。	

事前訓練

1 実施日

令和8年9月14日（月）から9月28日（月）（土・日・祝日は除く）

2 実施時間（全日共通）

午前： 9時30分から10時30分まで ・ 10時45分から11時45分まで

午後： 13時30分から14時30分まで ・ 14時45分から15時45分まで

3 実施場所

新宿消防署裏庭（集合場所：1階防災教室）

新宿区百人町3-29-4

4 訓練日程

「事前訓練実施順」のとおり

5 目的

各事業所における訓練を踏まえ、消防職員の指導のもと、参加隊ごとの行動チェックと修正を行い、完成度を高めることを目的とします。

6 服装

訓練時の服装は、ケガをしにくい服装（長袖、長ズボン、走りやすい靴）としてください。

半袖は受傷する可能性があるため、訓練時は着ないようにしてください。ヘルメット、手袋、

雨天時に備え雨具（カッパ（セパレートタイプ）等）を準備してください。

7 準備資器材（借用申請のあった事業所は除く）

(1) 屋内消火栓（一般、警備）

ア ホース×2本（口径40mm、長さ15m）

イ 可変式噴霧ノズル×1個

(2) 簡易型屋内消火栓（一般、警備）

ホースは消防署で準備しますので、持参する必要はありません。

☺ 熱中症対策のため、飲料水等を準備してください。

8 その他

(1) 熱中症予防と受傷事故防止のため、十分な水分補給と入念な準備運動を行ってください。

(2) 各事業所においても、行動要領の事前研究と自主訓練を行ってください。

(3) 荒天時や社会的に憂慮される災害等が発生した場合以外は訓練を実施しますので、実施の可否について不明な場合は、消防署へ問い合わせてください。

(4) 「事前訓練実施順」の変更希望は原則お受けできません。空いている日程は、荒天等で実施できなかった場合の予備日とします。

事前訓練実施順

9月14日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【SOMPOジャパン本社ビル】	【東日本旅客鉄道株式会社 新宿統括センター乗務ユニット】	【株式会社ルミネ ルミネエスト店】	【日本郵便株式会社 新宿郵便局】
【新宿住友ビル】	【セノン株式会社 新宿ワシントンホテルビル】	【エステー株式会社】	【エスパス日拓新宿】
9月15日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【東京オペラシティビル】	【東京地下鉄株式会社新宿地域】	【小田急ビルサービス 新宿駅】	【JR東日本ステーションサービス 新大久保駅&新宿駅】
【KDDI新宿ビル】	【東京都庁】		【JR東日本ステーションサービス 高田馬場駅】
9月16日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【新宿高野】	【株式会社ルミネ 新宿店】	【京王プラザホテル AL SOK常駐警備】	
【JR新宿ミライナタワー】	【新宿サブナード】		
9月18日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
	【アパホテル〈新宿 歌舞伎町中央〉】	【株式会社新宿東急ホテルズ BELLUSTAR TOKYO】	
	【新宿ファーストウエスト】	【株式会社新宿東急ホテルズ HOTEL GROOVE SHINJUKU】	
9月24日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【東急歌舞伎町タワー】	【ヴィラフォンテーヌ東京新宿】	【藤田観光株式会社 ホテル グレイスリー新宿】	【新宿区役所】
		【アパホテル〈新宿 歌舞伎町タワー〉】	
9月25日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【明宝ビル】	【東京地下鉄株式会社 高田馬場地域】	【アパホテル〈東新宿合同〉】	【藤田観光株WHG新宿 新宿ワシントンホテル】
【NTT東日本本社ビル】	【(株)東武 新宿区役所】	【アパホテル〈東新宿歌舞伎町タワー〉】	【株式会社小田急百貨店】
9月28日			
9:30～10:30	10:45～11:45	13:30～14:30	14:45～15:45
【新宿グリーンタワービル】	【西武鉄道 新宿駅管区】	【東日本旅客鉄道株式会社 新宿統括センター新宿駅】	【パークタワーホテル株式会社パークハイアット東京】
【新宿プリンスホテル】	【新宿モノリス】	【新宿アイランド】	【新宿三井ビル】